



地域産業を支える人材の確保・育成

鹿児島県商工労働水産部

部長 五田 嘉博

このたび、4月1日付けで商工労働水産部長に就任しました五田です。

県内企業及び関係団体の皆様には、かねてから本県の産業振興に多大な御尽力、御支援をいただき深く感謝申し上げます。

さて、我が国の経済は、緩やかな回復が続いているところではありますが、他方で、米中貿易摩擦をはじめとする海外経済の不確実性が懸念されるなど、今後の影響に留意していく必要があります。

このような中、本県におきましては、引き続き産学官一体となった産業の高度化・高付加価値化の取組、中小製造業者の創業や新分野への進出及び、規模拡大に対する一貫した支援、さらにはIoT・AI等の導入による生産性の向上や競争力強化に対する支援などに取り組むこととしております。

今年度からの新たな取組としましては、かごしまの地域課題解決に向けたイノベーションの創出など、本県のものづくりにつながる研究体制構築へ支援することとしております。

また、県内大学などを対象として、優秀な科学技術の発掘・育成支援を行い、技術に基づいた市場価値の高い大学発ベンチャー等の創出を図ることとしております。

さらに、本県の各種産業を担う人材不足に対応するため、県では、今年度、新たに「かごしま故郷人材確保・育成プロジェクト」を立ち上げるとともに、「外国人材受入活躍支援課」を設置するなど、地域産業を支える人材の確保・育成に、より一層取り組むこととしています。

このような中、工業技術センターは、県内企業の「工業技術の拠りどころ」として、本県産業の技術ニーズを踏まえた研究開発を行うとともに、技術指導・相談、依頼試験・分析、設備機器使用等の技術支援を行っています。研究開発は、地域資源の高度利用、新素材・新材料開発、生産・加工システム、バイオ・食品、環境・生活・デザイン、電子・情報の6分野において、「レーザ加工型板による新しい陽刻技法を用いた薩摩焼の研究」、「鍛造金型の与圧状態可視化技術の確立」など14テーマを実施するほか、新技術の開発をめざす技術創出(シーズ)研究として「火山ガラスの溶液化による機能性材料の開発」など5テーマ、企業ニーズに対応した技術高度化(ニーズ)研究として「木質バイオマス燃焼灰および竹チップの利用に関する研究」など5テーマを実施しております。他にも、経済産業省の公募提案型受託研究などにも取り組んでおります。

技術支援においては、技術相談・指導は6,500件以上、依頼試験・分析は2,000件以上行っており、県内企業等の問い合わせ等に迅速に対応しております。また、人材育成では、企業の技術者や研究者等で構成する各種研究会を運営し、技術者等を受け入れる技術指導を実施しております。

皆様におかれましては、新事業の創出や新製品の開発に向けて、工業技術センターを積極的に活用していただき、本県地域経済の活性化につなげていただきたいと考えております。

終わりに、皆様の益々の御発展と御健勝・御活躍を心よりお祈りいたします。